

作成日：2016.05.31

受け入れられる学生：学部・修士課程・博士課程

連絡先：関島 恒夫

TELL:025-565-6623

sekijima@gs.niigata-u.ac.jp

私たちの研究室では、哺乳類，鳥類，両生類，魚類など、さまざまな動物を対象とし、生態学および生理学的な視点から研究を行なっています。近年の鳥類研究の一例として、「希少鳥類の生息地保全」や「風力発電施設が鳥類に与える影響評価」を紹介します。

【希少鳥類の生息地保全】

佐渡のトキや福島潟のオオヒシクイなどの新潟を代表する希少鳥類の生息地保全策を提案するために、採食地でのモニタリングや糞から得られる食物種のDNA情報をもとに採餌生態を明らかにし、効果的な保全戦略を打ち立てることを目指します。

【風力発電施設が鳥類に与える影響評価】

近年、再生可能エネルギーとして注目を集めている風力発電ですが、鳥類の生息地や渡りルート上に多くの風力発電施設が建設されており、風車への衝突や生息地利用の減少が問題となっています。私たちの研究室では、風力発電施設が猛禽類やガン・ハクチョウ類に与える影響を明らかにし、風力発電事業における環境影響評価法の適正化につなげます。